



ニュースリリース

Marelli Electric Powertrain Strasbourg

大手自動車メーカーから e-アクスルの契約を獲得

マレリと PUNCH Motive International による合弁会社が

その設立後、数ヶ月のうちに最初の重要受注契約を獲得

【2021年12月15日】

マレリと PUNCH Motive International によって2021年5月に設立された合弁会社 Marelli Electric Powertrain Strasbourg は、本日、世界的大手自動車メーカーとの間で初めての e-アクスルの生産受注に関する重要な契約を締結したことを発表しました。

受注した e-アクスルは、Marelli Electric Powertrain Strasbourg が開発・テスト・生産を行うもので、2024年に生産を開始する予定です。

マレリ社が過半数の株式を保有するこの合弁会社は、両社が持つ実証済みのノウハウを結集して、欧州・米州向けに、BEV (Battery Electric Vehicle : バッテリー電気自動車) やプラグインハイブリッド車用に最適化された統合 e-アクスルシステムの開発と組立を行っています。この合弁会社が設立されてから初となる今回の受注は、同社の高い技術力が市場に認められた証となります。

この e-アクスルシステムは、ASIL-D (Automotive Safety Integrity Level D : 自動車安全水準レベル D) などの最も厳しい機能安全要件に対応するもので、市場で最もコンパクトで効率的かつ高性能



なソリューションのひとつとなります。また、BEV に対しては、アクティブトルクベクタリングなどの機能により、最適な運転性能を確保し、機動性を発揮することも特徴です。

マレリのピークル・エレクトリフィケーション事業部門の President である Hannes Prenn は次のようにコメントしています。

「この合併会社は、マレリのピークル・エレクトリフィケーション事業部門の EV ポートフォリオのギャップに対応するために設立されたものです。会社設立後すぐに、このように意義のある受注を獲得できたことは、この合併会社を設立した狙いを見事に示したものです。完全な電動化システムに向けての e-アクスルへの注力は、マレリの電動化戦略の重要な要素です。これまでマレリが培ってきた電動パワートレインとサーマルマネジメントの実績を統合させ、現在と将来の自動車のエネルギーフローを効率的に制御できる総合的なアプローチを構築していきます。」

電気自動車のキーシステムである e-アクスルは、マレリの e-モビリティ成長戦略の中核技術です。e-モビリティへの移行が加速する中で、マレリの目標は、電気モーター、インバーター、ソフトウェア、バッテリーマネジメント・ソリューションなど、電動化のためのフルシステム・プロバイダーとして、独自の統合的ソリューションを拡大することです。これにはサーマルマネジメントも重要な役割を果たし、消費電力の削減と冷却機能の最適化は、製品寿命を伸ばし効率を向上させるために最も重要です。

Marelli Electric Powertrain Strasbourg は、マレリのピークル・エレクトリフィケーション事業部門の専門的知見とノウハウに、PUNCH グループの強力な技術能力を併せ持つ合併会社です。ストラスブールはギアボックスのエンジニアリングと生産に特化した専門的知見のセンターであり、トリノはシステムマネジメントとソフトウェアに特化した専門的知見のセンターとなっています



マレリについて

マレリは、世界的な独立系自動車関連サプライヤーです。イノベーションとモノづくりに確かな実績を持つ当社の使命は、お客さまやパートナーと協力して、より安全で、より環境に優しく、よりコネクティビティの高い世界を造ることを通じて、モビリティの未来を変えることです。全世界に約 58,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、米州、欧州、アフリカに約 170 の施設や研究開発センターを有し、2020 年の売上は約 1 兆 2,660 億円（約 104 億ユーロ）に達しています。